



岡村病院  
院内報

# 歩 (あゆみ)

第 25 号

発行 岡村病院

編集 歩 (あゆみ)

編集委員会

平成 9 年 8 月 28 日

## 岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え  
高度な専門医療技術をもって  
地域社会に貢献することを目指します。



「樽の瀧」(鏡村) 安岡定直氏 写

## 今月のことば

### 「笑顔を絶やさずに」

少し前ですが、国家試験に合格して間もない若い看護婦さんの話が新聞に出ていました。「病院に就職して2ヶ月、学生時代の実習では先輩の看護婦さん任せの部分もありましたが、今は甘えは許されません。責任の重さをひしひしと感じています。……入院中の患者さんの気持ちを解きほぐすには、まだまだ経験不足ですが、親近感を持ってもらえる看護婦になれるよう、笑顔を絶やさず仕事をしています」と言っていました。

病院へ来られる方は皆夫々に痛みや悩みをもって来ておられると思います。看護婦さんに限らず、職員の人達がみんな笑顔で対応出来たら、患者さんの心も和み、明るい雰囲気を作り出せるのではないのでしょうか。

# 安田病院事件



院長 岡村 高雄  
(心臓血管外科医長)



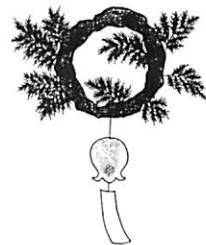
大阪の安田病院にて医療費の不正請求が行われていた為に院長等が逮捕され、病院が廃止になるという事件があったことは皆様もよくご存知の事と思います。この様な事件が起こる度に、私共医療にたずさわる人間としては非常に腹立たしく、残念に思われます。多くの医療関係者が、真面目に医療に取り組んでいるのに、一部の人によって、世間から誤解されてしまうことと、基本的に大切な医療と患者さんの信頼関係を損なうからであります。しかし、この事件は他にもいくつか問題点を含んでいるものと思われれます。まず第1は、医療と福祉の問題であります。新聞等によると、この病院に入院されていた患者さんはホームレス、身寄りのない人々等の一般病院では治療を受けにくい患者さんであったと言われております。この様な人々の中には確かに入院して治療を要する人々もいるかと思われれますが、又病院を生活の場所としている人々もいるかと思われれます。現在、日本では老人ホームの数も非常に少なく、長期の入所待ちの現況であり、ホームレス等の社会的に入所出来る施設は殆どないのが現状であります。この様な行き場のない人々を病院がお世話をしていたのだと思われれますが、本来は福祉の分野ですることであり、病院の本来の姿とは大きくかけ離れたことと思われれます。日本では福祉分野の立ち遅れが、ある意味では病院にしわ寄せを来たし、又ある人はこれを格好の材料にして利益をむさぼるといふ歪んだ構造にしているものと思われれます。

次に問題な点は行政の監視であります。安田病院では以前より多くの問題が指摘されており、行政に投書、苦情も寄せられていたと聞いておりますが、行政は現在までこれを放置していたのではないのでしょうか。行政サイドは書類上で不合理がなかったので基準の許可を与えていた

し、数多くの病院の監査を小人数で行っている為に詳細な監査は不可能であったと言っています。しかし、多くの問題を指摘される病院は数多くはないと思われ、この様な場合にはもっと徹底的に監査を行うことが必要と思われれます。又、安田院長は多数の政治家に多額の寄付を行っていた為に、行政サイドとしても政治家の圧力により厳しい監査ができなかったのではとも言われております。この様な古い日本の行政及び政治の体質を早く改善することも今後は必要と思われ、行政も責任を取る時代にする必要がありと考えられれます。

また医師会の果たす役割も問われるべきと考えられれます。医師会は国民及び患者さんの為にある医師会であり、もし会員の中にその行為が患者さんの為にならない行為を行っているとする、自浄能力をはたして、信頼を得る為の努力をしていかないと、今後の医療に対する信頼関係はますます損なわれると思われれます。

お互いに勉強し、切磋琢磨して患者さんの為の医療を行っていくことが、医師会本来の目的であり、ただかばいあつて行く事は、正しい医療のありかたとは思われず、今後この様な事件が起こらないように反省すべきだと考えております。



## ミシシッピ川からの手紙

### (11) E R (救急室)

現在、NHKテレビにてERという番組が放送されているのをご存知の方も多々と思われま  
す。ERはEmergency Roomの略号であり、  
救急室のことです。英語では手術室のこ  
とをOperation Roomと言いますが、これも  
略してORと言っております。当初アメリカ  
に行った当時はER、ORの意味が分からなくて  
困った事を思い出します。番組のERではシカ  
ゴの病院がモデルとなり、屋上にヘリポートが  
あって、救急患者が運ばれて来る場合が見られ  
ます。アメリカの国は広大で、これをカバーす  
る為に多くの大学病院ではヘリポートを有して  
おり、24時間稼働をしております。ミズリー大  
学にても2台のヘリコプターが半径200kmの範  
囲から患者さんを運んで来ており、頻りに利用  
されております。テレビのERでは非常に多忙  
の様になってはいますが、現実はそのままで  
なく、やや誇張されすぎている様に思われま  
すし、

殆ど多くの患者さんが救命される事に対する医  
療側からの批判もでてきています。しかし、内  
容的には各種医療器具や、俳優の演技は日本の  
テレビと比較にならない程正確にできており、  
又研修医の病院での生活も実際と殆ど変わらず、  
大変良く出来た作品と思われます。まだご覧  
になっていない方は現在NHKテレビにて放映中  
ですのでぜひ一度ご覧になって下さい。



大学の救急ヘリコプターと筆者

### 検査室だより(9)

臨床検査技師

上野留美



#### 2. 膵機能検査

\* どんとき検査するか？

- ・左上腹部に持続して痛みがある
- ・痛みが背中の方にまで放散する
- ・食欲がない
- ・体重が減る
- ・黄疸が見られる など

↓  
膵炎を疑い検査

\* どんな検査があるか？

膵機能検査の代表はAMY (アミラーゼ)  
で、血中AMY、尿中AMYを検査します。  
その他、CA19-9、エラスターゼI、ア  
イソザイムなどがあります。

#### ☆AMY (アミラーゼ)

デンプンを加水分解する酵素で、主に膵臓、  
唾液腺で産生されます。膵炎、膵管内圧の上  
昇などが起こると膵臓からアミラーゼがとび  
だして、血中および尿中にアミラーゼが増加  
します。逆に組織が荒れてくればアミラーゼ  
は産生されず低下するので、症状に腹痛や背  
部痛などが現れ膵疾患の疑いがある場合、主  
に測定されています。

\*アミラーゼの値が高くなる疾患

- ・急性膵炎
- ・慢性膵炎 (早期および急性期)
- ・膵癌
- ・胆管胆石
- ・耳下腺炎

\*一般成人参考値

血中アミラーゼ 40-140 IU/L  
尿中アミラーゼ 200-650 IU/L



緊・急・入・院

和田栄子

高熱、頓服。高熱、頓服。高熱、ヤバイ。入院！このあやしげなるリズム。実は今年の春、孫の入院に伴いのつびきならぬ条件が重なった日々の事。夕方から発熱しては熱さましを飲んで症状を抑え、のくり返しから、体力的に殆ど限界に陥った結果、遂に大風邪を引いてしまった時の10日余りに渡る夜間の経過である。

日頃。昼間は孫達とのつき合いで生き甲斐をやっている、夜は自分に立ち帰る(?) 独居老人。いくらしぶとく構えていても、10日余りもこのリズムを引きずると3度目には「まだ天国は早いぞ。」とまじに心細くなる。その時、パーッとひらめいたのが、ここ岡村病院と奥山さんの顔。途端にホーッとしてビビビの前に体温計よさらば！。何と、良く言えば信頼し切った素直さ？、可哀さ？、だがありていへば大いに凶々しさの表れではある。ま、それはそれとして、当然のように友人ー奥山さんーお医者様へとつながっていく入院のルート。まるで通り行き管ではある。しかも夜の9時10時なのに。ともかく倒れこむようにベッドに入る。何人もの方々の手をわずらわし、御足労をおかけしたあげくに。もう安心、心おちついてみれば、一目散にこのベットに来たけれど、唐突に、一方的に無理押しをやったけれど「来なさい」と有無なく受け入れて下さった。何と有難い事かと涙ぐむ。

その夜も、翌日もただひたすらに眠る。疲れ

と高熱を通り越した安堵感の何と心地よい眠りよ。ステロイド投与を始めて1年。量は減ったとは言えこの薬には慎重な心の備えを怠ってはならないのだと改めて思い知らされ、とりあえずは「食欲が無い」のは甘えと、心を入れかえ残さず全部食べる事にする。次第に体力を回復して来ると現金なもので、どこでもいい歩きたくなって来る。

ベッドを離れ廊下に出ると、思いもかけず懐かしい顔、顔。昨年この病院で御一緒だった方々と又もや同病相哀れむの仲になろうとは。一度お世話になれば、私ならずとも再びここに……と、病気というマイナスの背負いにもそれなりの安らぎがここにはあるんだと妙に慰められる。何しろ主治医の先生はさる事乍ら、ずっと以前お世話になった他の科の先生も、夜中、緊急の時に一度診ていただいた院長先生も気さくに声を掛けて下さる。病気というゆううつな条件の中でも来る日も来る日も忍耐でしかない病人にとってそれは何と、ぬくい事か、それだけに何と魅力の事かと慰められるのだから。

病院で逢った懐かしさと慰みと言えはもうひとつ、絵。中でも小磯良平の人物画。歩きの途中その前に立ち止まるのが楽しみで殆ど日参。初めて良平の絵に出会った娘時代と絵との出会いに伴う色々な事が重なり次々と浮かんで来る。不思議な程に満たされた空間であった。

俳句ポスト

水田雅吉子

\*水張れば早命住む水田なり 秋山武子  
オタマジャクシ、泥鰌、田螺、ゲンゴロウ、子供の頃の遊び仲間だった懐かしい生き物たちが思い出されます。季節は風景を変えながら、様々なメッセージを我々に送ってきます。この

作品のように、その意味を心で捉えながら暮らして行けたらいいですね。

\*鎮魂の沖縄の海夏海 永野すみ子

今年も52回目の終戦記念日が巡ってきました。抜けるような紺碧の海を背景に、「ひめゆりの塔」に象徴される沖縄の惨劇が繰り広げられたこと、忘れてはならないと思います。海を重ねて、作品を印象深いものにしていきます。

\*夏萩や此の頃ふえし独り言 青木静枝  
萩は古来より、日本の詩歌に好んで詠まれて

いる花です。その品種も多く、夏咲く萩は秋の萩とは区別されています。花そのものに大差はないのですが、季感からくる心情の差が出るようで、どうも秋の萩の方が珍重される風です。夏萩のイメージを、旨く捉えられていると思います。

＊朝を歩く公園の道今蝉しぐれ 奥山貴司  
ステキな作品ですね。今流行のライトバース(軽み)のようで、それとは一味も二味も違う良さがあります。俳句には、「今、此処、我」が内在していなければならないと言われます。何か特別な事のようにですが、身辺、日常を大切に詠むことを薦めた言葉です。

＊木像をきざむ病人夏の部屋 山中 覚  
(夏の部屋)が、実によく一句を活かしています。一身の祈りを込めて木像を刻むのは、作者でしょうか。張り詰めた室内の空気を打つよ

うに、鑿の音が聞こえてきます。

＊月二つながめて涼し橋の上 山原 和  
小さな感動が自然に表れていて、好感が持てます。天真の月と、川面に映る月を、二つながら我が手にしたかのような喜びが伝わってきます。現代にも変わらぬ日本の風景ですね。

＊古里の山川匂ふ稲の花 青木静枝  
＊三伏の足腰かばひ旅に出る 〃  
＊班惚け母は一途に茶を摘みぬ 秋山武子  
＊昨日見し蝶蝶が来たと母が呼ぶ 〃  
＊降り立てば北欧清し麦の秋 永野すみ子  
＊漁を終えし息子に太き秋日かな 〃  
＊カラフルな夏の雨傘縄せばむ 山中 覚  
＊退院の掛橋渡る朝の虹 〃  
＊狂い咲きサツキの赤が目にしみる 山原 和  
＊夕立や竹のお宿を出ぬ雀 〃  
★夕焼の門に凭り読む手紙かな 雅 吉子

## ひろば

### 読 書

事務 森田 恵子



私は最近読書にこっています。高校生の時に、赤川次郎のミステリーシリーズにこってしまったことがありますが、特に読書が好きなのではなかったもので、次第に遠のいてしまい、それからはマンガばかり読んでいたような気がします。

私には特に自分で趣味といえるものがなかったので、休みの日はだらだらと過ごしてしまいがちでした。そんな日々を送っているうちに「このままでは無駄に時間を過ごしているだけで、もったいないな。」と、思うようになりました。

私が読書を始めたのは、今年に入ってからですが、それは本屋で毛利元就をテーマとした文庫を見てから、また読書に興味を持ち始めたからです。NHKの大河ドラマとして、注目をあびていた時ですから、ままとマスメディアにつられてしまったわけです。

けれど、今はどんなきっかけであっても良かつ

たと思っています。小学生の高学年の時、夏休みになると、「読書をしなさい。」と言われては嫌だなと思っていたのに、今はすすんで文庫を手を取っています。文庫によって色々な事を感じとったり、文字から情景をつかみとれたりします。今はそれが私の楽しみです。

### 休 日

看護婦 田邊かおり



仕事がお休みの日には、時々ですが、海を見に行ったり、山へ出掛けたりします。普段、家で過ごす事が多いのですが、海や山へ出掛けて、眺める事が、リラックスできて、良い気分転換になるので、私の中では、好きな時間です。

むし暑い日が続いています。毎年、この時期になると、海に泳ぎに行ったり、キャンプをしたいとか、その他、いろいろやってみたいと思うのですが、暑いのが苦手なので、殆ど出掛ける事がありませんでした。暑さに負けずに外出する機会をつくりたいと思います。

## よいコミュニケーション のために

薬局長 田村麻美子



人と会う時、患者さんとお話する時には、その前にちょっと鏡を見てニコッと微笑んで出かけましょう。

まず正面に向かい合います。真正面だと緊張感が増す場合は机やテーブルで距離を調節してもよいし、横や斜め前に腰掛けてもよいです。気楽な気持ちになれる姿勢でよいですが、視線を合わせてお話ししましょう。そして顔の表情にも注目します。言うことと表情が違うこともあります。うれしい話を話す時には生き生きしているはずで、ちょっと身を乗り出す感じになると、あなたに関心を持っていますよ々という気持ちが伝わります。

コミュニケーションには非言語の部分が6割、言語の部分が4割をしめるともいわれています。文字を目で追うばかりでなく、耳に頼るのではなく、全身でよいコミュニケーションをお互いにとりたいと思います。

上記のことはカウンセリングを勉強する時、まず教えられることです。第一の木曜日当院の会議室でPM6:00からヘルスカウンセリングの勉強会をしています。興味のある方はのぞいてみて下さい。

~~~~~  
**ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!**



宗本 知香 さん  
看護婦  
高知中央高校  
衛生看護専攻科卒  
高知市薊野



伊野部満絵 さん  
理学療法助手 (パート)  
高知丸の内高校卒  
高知市曙町

## 非常勤医師紹介



上田 眞 先生  
独協医科大学出身  
専門 内科、小児科  
上田クリニック院長  
(高知市三園町)  
(7月1日より入院患者さんの診療に当たって下さっています。)

### 第6回健康講座(9月)ご案内

- テーマ 骨を大切に  
一骨粗しょう症予防をめざして一
- 日 時 平成9年9月20日(土)  
13:30~15:30
- 場 所 岡村病院 2階 会議室
- 会 費 無料
- 講 師 岡村病院副院長 整形外科医長  
谷 吉彦

骨粗しょう症の予防と食生活について、管理栄養士の森光眞佐子と溝江和子の話もあります。是非ご参加下さい。

<退職> ごくろうさまでした。

- ▶宮崎 浩美 さん(事務) 7月20日
- ▶竹崎さちよ さん(看護婦) 7月31日

<合格> おめでとうございます

- ▶山本由紀子 さん  
5月に行われた管理栄養士国家試験に合格されました。(6月16日発表)

### 第5回健康講座(7月)の報告

第5回健康講座は、内分泌学、特に糖尿病学御専門の高知医科大学助教授・深田順一先生をお迎えして“生活習慣病は治せません(糖尿病を中心に)”をテーマに7月5日開かれました。

糖尿病が年々増加している傾向を反映して、遠方よりの方々も含め、多数の出席がありました。

専門的な内容もわかりやすく説明して下さい、最後に質問の時間があり、糖尿病に対する理解を深め有意義な時を過ごしました。

(森光)